

新規事業採択時評価に係る 府県知事意見等

国道分評第6号
平成25年4月16日

和歌山県知事 殿

国土交通省道路局長



道路事業の新規事業採択時評価に係る意見照会について

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、直轄事業の新規事業採択時評価については、国土交通省所管公共事業の新規事業採択時評価実施要領において、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、直轄事業負担金の負担者である都道府県・政令市等に意見を聴いた上で、学識経験者等の第三者から構成される委員会等の意見を聴くこととしております。

また、独立行政法人等施行事業(高速道路会社が行う事業を含む。)の新規事業採択時評価については、国土交通省所管公共事業の新規事業採択時評価実施要領において、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、関係する都道府県・政令市等に意見を聴いた上で、学識経験者等の第三者から構成される委員会等の意見を聴くこととしております。

このため、別紙に掲げる事業を予算化することについて、平成25年4月18日(木)までに、貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

※ご意見の送付・問い合わせ
(手続きに関する内容・ご意見の送付先)

国土交通省道路局

企画課道路事業分析評価室 課長補佐 木村 康博

電話 03-5253-8593(内線37682)

FAX 03-5253-1618

(個別事業に関する内容)

国土交通省道路局

国道・防災課 企画専門官 信太 啓貴

電話 03-5253-8492(内線37832)

FAX 03-5253-1620

高速道路課 課長補佐 古川 慎治

電話 03-5253-8491(内線38352)

FAX 03-5253-1619

(別紙)

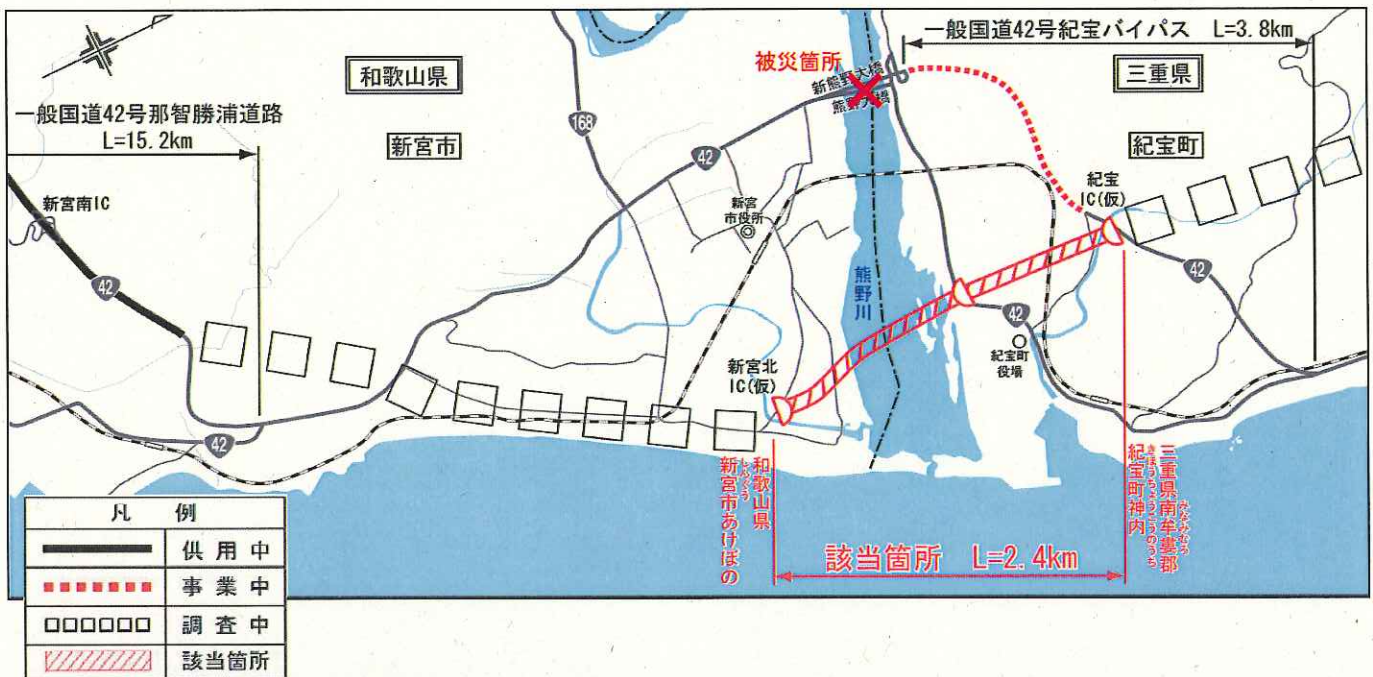
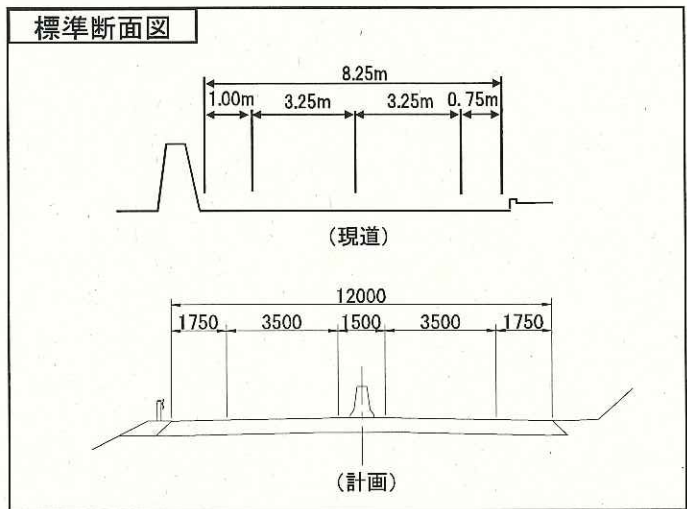
(新規事業採択時評価)

【道路・街路事業】

事業名	備考
一般国道42号 <small>しんぐうきほう</small> 新宮紀宝道路	
一般国道42号 <small>ゆあさごほう</small> 湯浅御坊道路 4車線化	

一般国道42号 新宮紀宝道路 しんぐうきほう

事業区間 : 和歌山県新宮市あけぼの^{しんぐう}～三重県南牟婁郡紀宝町神内^{みなみむろぐんきほうちょうこうのうち}
 延長 : 2.4km
 事業費 : 約210億円



▲並行する国道42号
 【熊野川渡河部の渋滞状況】



▲並行する国道42号
 【平成23年9月4日 台風12号による越水状況(熊野大橋)】

一般国道42号 ゆあさごぼう 湯浅御坊道路 4車線化

事業区間：わかやま ごぼう のぐち 和歌山県御坊市野口
わかやま ありだ ありだがわちよう てんま
 ～和歌山県有田郡有田川町天満

延 長：19.4km
 全体事業費：約710億円



▲当該区間の渋滞状況



▲土砂災害状況



道政 第 32 号
平成25年4月18日

国土交通省道路局長 様

和歌山県知事



道路事業の新規事業採択時評価に係る意見照会について（回答）

平成25年4月16日付け国道分評第6号で照会のありましたこのことについては、下記のとおりです。

記

一般国道42号新宮紀宝道路の予算化については同意します。

当該道路は、県境渡河部における慢性的な渋滞解消はもとより、災害時における救助・救援活動のために必要な道路であり、一日も早い事業着手をお願いします。

紀伊半島一周高速道路の早期実現は、南海トラフの巨大地震により甚大な被害が想定される本県においては、人命救助はもとより迅速な復旧・復興のために不可欠な命の道として、また、医療・教育機会の平等や、経済活動に対する県民のチャンスを保障するものとして、不可欠かつ急務です。

この見地から、今回の区間と合わせて一連のネットワークを形成する近畿自動車道紀勢線「すさみ～太地」間、及び新宮紀宝道路以外の「新宮～大泊」間が、新規事業採択時評価の対象とされない形で照会がありましたことは残念であります。この両区間も同時期に事業着手されるよう、特段のご配慮をお願いします。

連絡先：和歌山県県土整備部道路局道路政策課

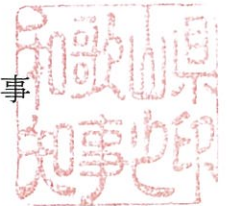
TEL073-441-3116



道政 第 33 号
平成25年4月18日

国土交通省道路局長 様

和歌山県知事



道路事業の新規事業採択時評価に係る意見照会について（回答）

平成25年4月16日付け国道分評第6号で照会のありましたこのことについては、下記のとおりです。

記

一般国道42号湯浅御坊道路4車線化の予算化については同意します。

当該区間は、暫定2車線区間として全国有数の交通量を有し、慢性的な渋滞や対面交通による重大事故が多発しており、また、南海トラフの巨大地震など大規模災害時の緊急輸送道路となることから4車線化は不可欠です。一刻も早く完成されますことを強く要望します。

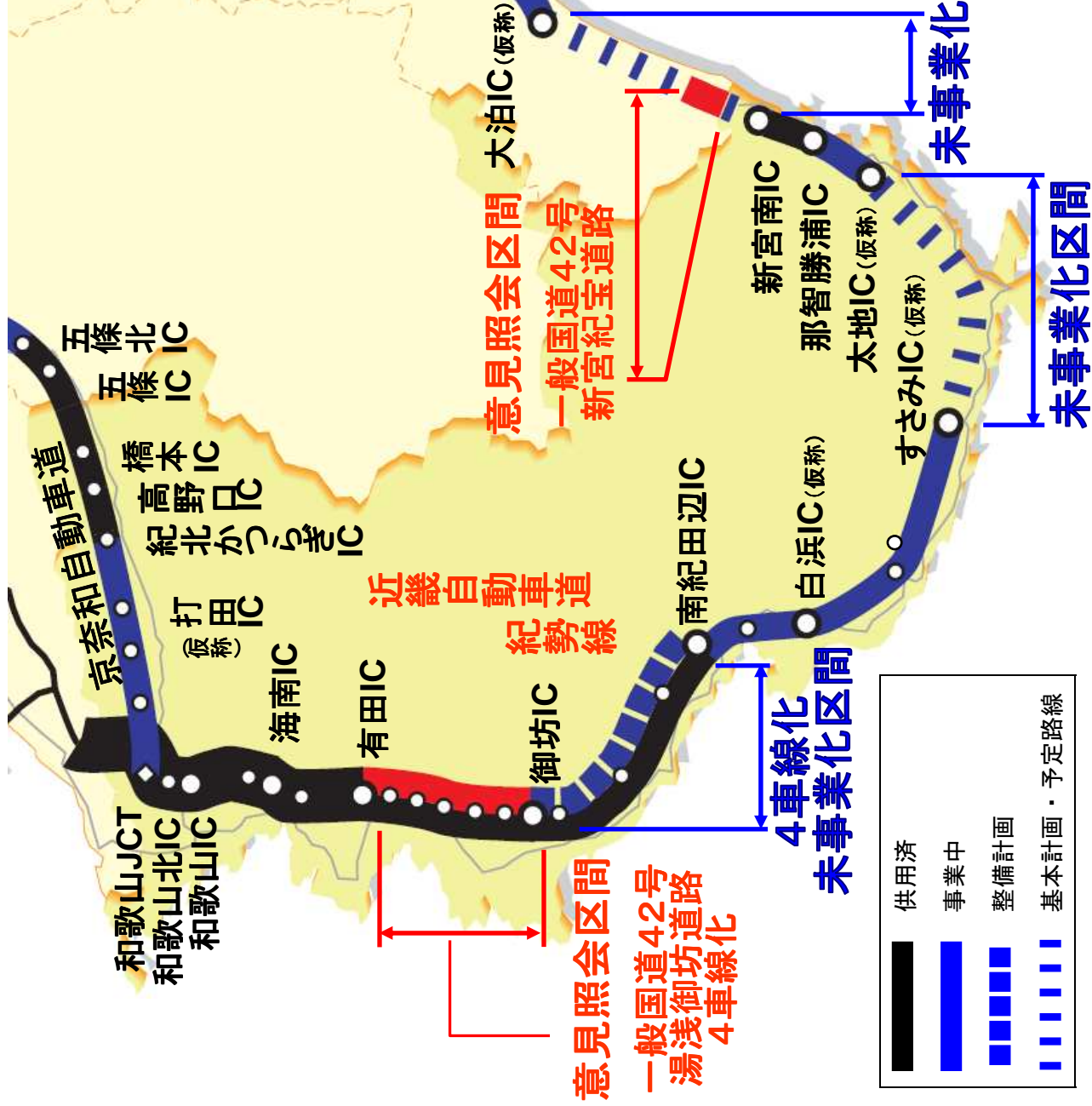
さらに、これに続く近畿自動車道紀勢線「御坊～南紀田辺」間は、上記「有田～御坊」間に次ぐ交通量を有し渋滞も予想される一方、この区間は整備計画が策定され既に用地取得済みで、すぐにでも工事に着手し得る区間であることから、一連区間として「有田～南紀田辺」間の4車線化が実現されますよう、これも同時期に事業着手されんことを願います。

連絡先：和歌山県県土整備部道路局道路政策課

TEL073-441-3116

和歌山県の高速道路の現状

・高速道路の供用率は、48.3%で全国ワースト1位。

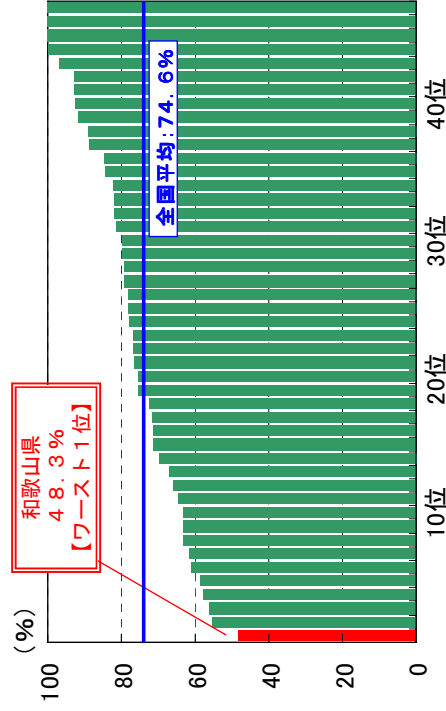


● 高速道路の整備状況

	和歌山県	全国
計画延長	217.2km	14,000km
供用延長	105km	10,444km
供用率	48.3%	74.6%

※資料:全高速調べ(2012年度末見込)

● 都道府県別高速道路の供用率

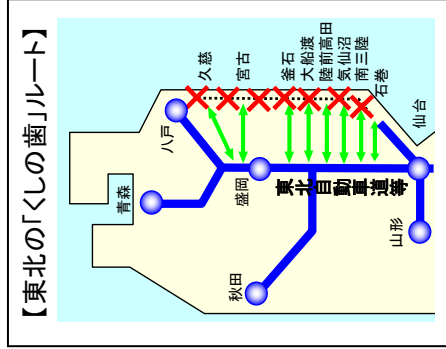


※資料:全高速調べ(2012年度末見込)

南海トラフの巨大地震など大規模災害に備えた高速道路整備

○南海トラフの巨大地震などに備え、強靱な高速道路は「命の道」

- ・紀南地域は、くしの歯の「歯」も「歯の根本となる部分」もない。
- ・津波で寸断される国道42号の代替路となる紀伊半島一周高速道路が必要。



✕ 津波で橋梁の流失が想定される箇所
【南紀田辺IC以南の和歌山県域】

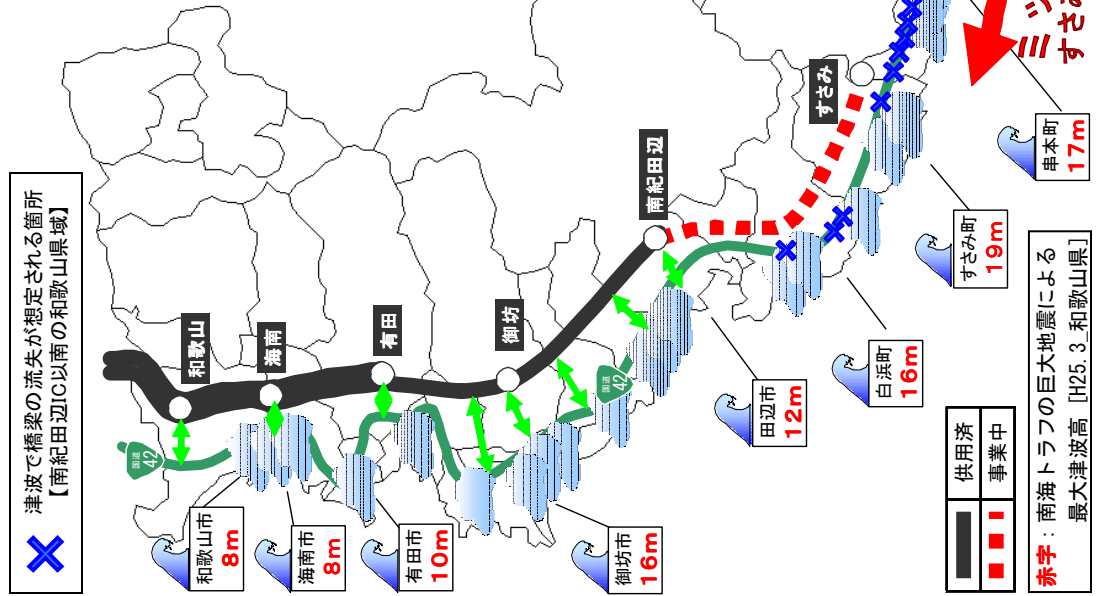
被害想定		和歌山県
死者数		8万人
うち津波		7万2千人
全壊・焼失 建物数		19万棟
うち津波		4万8千棟

※南海トラフの巨大地震モデル
検討報告会 [H24.8.内閣府]
※和歌山県の被害が最大ケース

南海地震	東南海地震	東海地震
1605年 慶長地震 M7.9 ↑102年	1707年 宝永地震 M8.6 ↑147年	1854年 安政東海地震 M8.4 ↑90年
1944年 昭和南海地震 M8.0 ↑66年	1946年 昭和東南海地震 M7.9 ↑68年	2012年 東海地震 M8.4 ↑158年

● 南海トラフの巨大地震の被害想定

● 周期的に発生する巨大地震

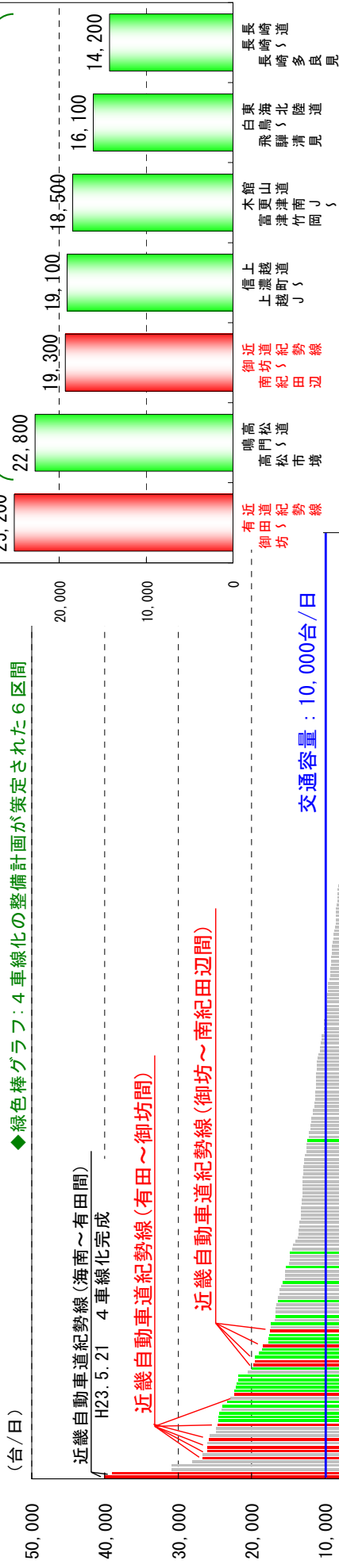


※南海トラフの巨大地震による津波浸水想定 [H25.3.和歌山県]

近畿自動車道紀勢線の2車線区間の現状

・2車線区間としては、全国有数の交通量であり、慢性的な渋滞が発生。

○全国の高速道路の2車線区間(253区間)の交通量

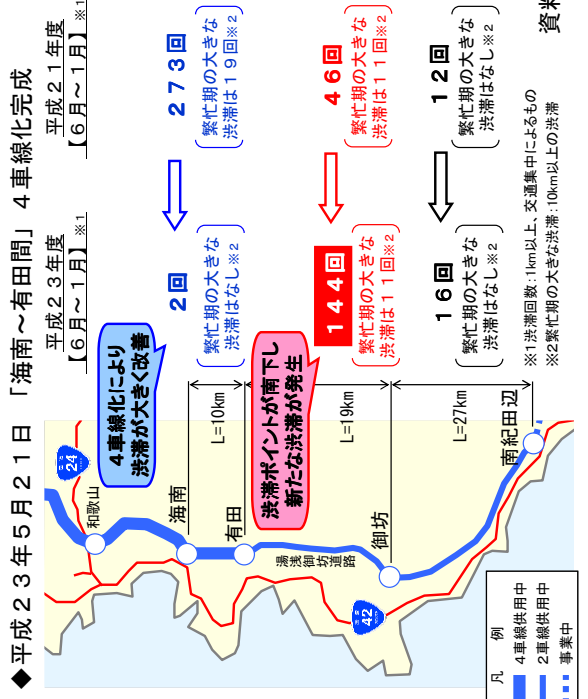


※対象路線：高規格幹線道路 (NEXCO管理2車線区間)
※出典：NEXCO調べ (H24. 8月全日平均)

○近畿自動車道紀勢線の2車線区間における渋滞状況



H24. 8. 13 有田南IC付近(南向き)



資料：国土交通省HP

国道分評第6号
平成25年4月16日

三重県知事 殿

国土交通省道路局長



道路事業の新規事業採択時評価に係る意見照会について

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、直轄事業の新規事業採択時評価については、国土交通省所管公共事業の新規事業採択時評価実施要領において、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、直轄事業負担金の負担者である都道府県・政令市等に意見を聴いた上で、学識経験者等の第三者から構成される委員会等の意見を聴くこととしております。

このため、別紙に掲げる事業を予算化することについて、平成25年4月18日(木)までに、貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

※ご意見の送付・問い合わせ

(手続きに関する内容・ご意見の送付先)

国土交通省道路局

企画課道路事業分析評価室 課長補佐 木村 康博

電話 03-5253-8593(内線37682)

FAX 03-5253-1618

(個別事業に関する内容)

国土交通省道路局

国道・防災課 企画専門官 信太 啓貴

電話 03-5253-8492(内線37832)

FAX 03-5253-1620

(別紙)

(新規事業採択時評価)

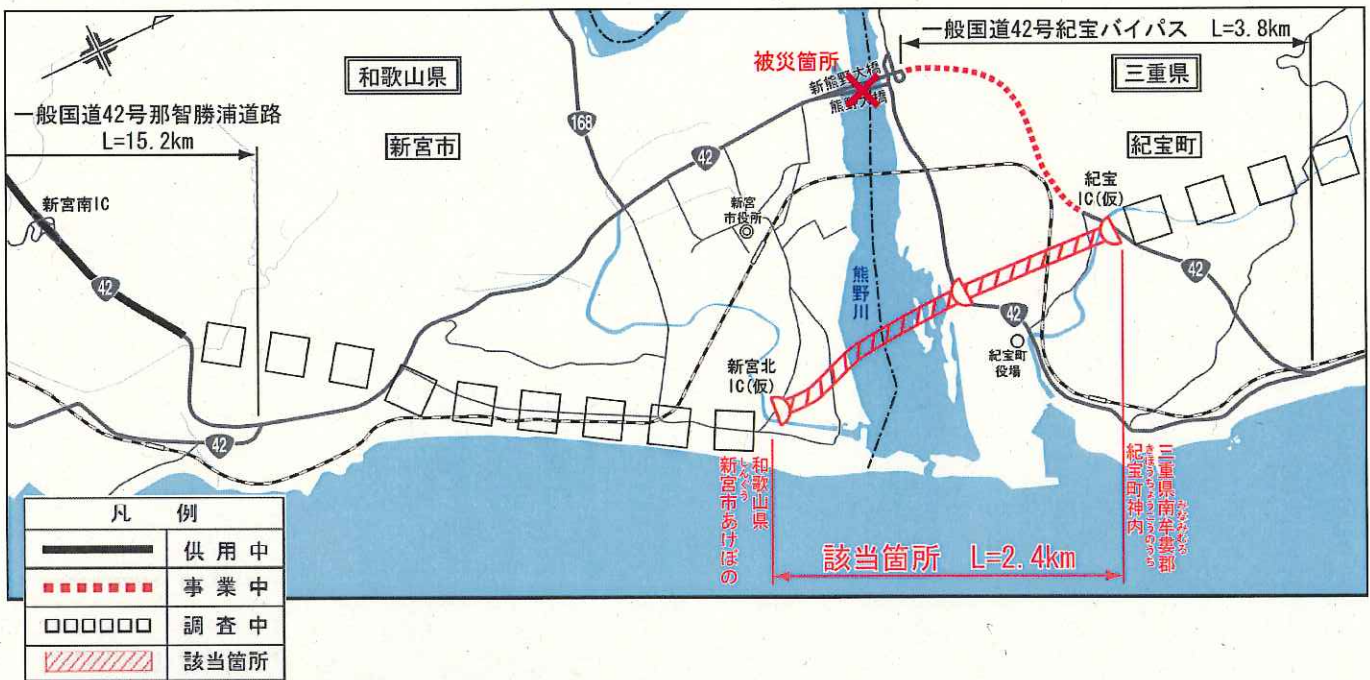
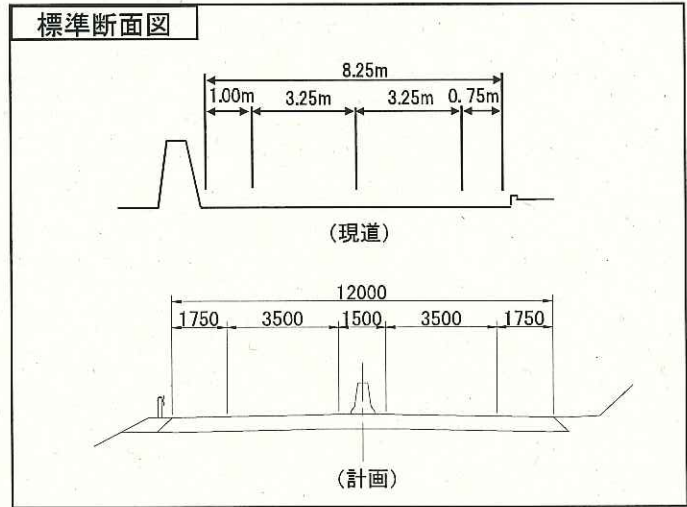
【道路・街路事業】

事業名	備考
一般国道42号 <small>しんぐうきほう</small> 新宮紀宝道路	

一般国道42号 新宮紀宝道路

しんぐうきほう

事業区間 : 和歌山県新宮市あけぼの^{しんぐう}～三重県南牟婁郡紀宝町神内^{みなみむろぐんきほうちようこうのうち}
 延長 : 2.4km
 事業費 : 約210億円



▲並行する国道42号
【熊野川渡河部の渋滞状況】



▲並行する国道42号
【平成23年9月4日 台風12号による越水状況(熊野大橋)】

県土 第 07-2号
平成25年4月18日

国土交通省道路局長 様

三重県知事 鈴木 英 敬



道路事業の新規事業採択時評価に係る意見照会について（回答）

平成25年4月16日付け国道分評第6号で意見照会がありましたこのことについて、下記のとおり回答します。

記

熊野川河口大橋（仮称）を含む「一般国道42号 新宮紀宝道路」は、地域の防災機能の向上や慢性的な交通渋滞の解消などに資する重要な道路となることから平成25年度に係る予算化をお願いします。

また、近畿自動車道紀勢線は、東紀州地域の振興、台風による豪雨や東海・東南海・南海地震などの災害発生時の救援・復旧・復興や、救急医療において地域の生命を支える「新たな命の道」であると考えており、早期全線開通を望んでおり、残る未事業化区間の早期事業化が図られるよう特段の配慮をお願いします。

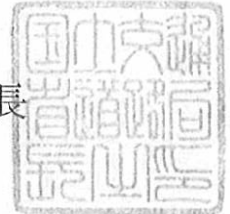
事務担当：三重県県土整備部
道路企画課
TEL:059-224-3016



国道高第 21 号
平成 25 年 4 月 16 日

西日本高速道路株式会社
代表取締役社長 石塚 由成 殿

国土交通省道路局長



道路事業の施行の意向確認について

この度、別紙に掲げる事業の新規事業化について、都道府県・政令市に意見を聴いた上で、学識経験者から構成される委員会の意見を聴くことといたしました。

については、同事業を有料道路事業で実施することについて、平成25年4月18日(木)までに、貴殿のご意向を承りたく依頼いたします。

なお、回答にあたっては、必要に応じ、(独)日本高速道路保有・債務返済機構と調整をお願いいたします。

(ご意向の送付先・今回の手続きに関する問い合わせ)

国土交通省道路局高速道路課 課長補佐 古川 慎治

電 話 03-5253-8491(内線38352)

FAX 03-5253-1619

(別紙)

路線名	区間	事業内容
一般国道42号 湯浅御坊道路	有田IC~御坊IC	4車線化

一般国道42号 ゆあさごぼう 湯浅御坊道路

事業区間：わかやま ごぼう のぐち 和歌山県御坊市野口
わかやま ありだ ありだがわらよう てんま
 ～和歌山県有田郡有田川町天満

延長：19.4km
 全体事業費：約710億円



▲当該区間の渋滞状況



▲土砂災害状況

企 第 3 号
平成25年4月18日

国土交通省 道路局長
前 川 秀 和 殿

西日本高速道路株式会社
代表取締役社長 石塚由成



道路事業の施行の意向確認について（回答）

平成25年4月16日付け国道高第21号で照会のあった標記について、
下記のとおり回答します。

以 上

記

紀伊半島を一周する高速道路は、東南海・南海地震に備えた「命の道」として、また災害時等における一般国道42号の代替え機能として、早期整備が望まれている、大変重要な路線です。

その一部を担う一般国道42号 湯浅御坊道路は、紀伊半島北西部における地域の連携強化を図るとともに、紀伊半島中南部と京阪神を直結し、当該地域の活性化に資する道路です。

しかしながら、近年の交通量の増加、それに伴う渋滞も慢性化しており、交通混雑の緩和、円滑な交通流の確保、交通事故の減少、さらには災害時の代替機能の強化などが望まれているところです。

ご照会のあった、当該道路の4車線化事業は、これらを改善することが期待できる事業であることから、全国路線網の機能強化を図るため、有料道路事業で実施する意向です。

今後、当該事業の実施にあたり、必要となる協定等の手続きについては、関係機関と調整を進めて参ります。

国道分評第6号
平成25年4月16日

京都府知事 殿

国土交通省道路局長



道路事業の新規事業採択時評価に係る意見照会について

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、直轄事業の新規事業採択時評価については、国土交通省所管公共事業の新規事業採択時評価実施要領において、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、直轄事業負担金の負担者である都道府県・政令市等に意見を聴いた上で、学識経験者等の第三者から構成される委員会等の意見を聴くこととしております。

このため、別紙に掲げる事業を予算化することについて、平成25年4月18日(木)までに、貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

※ご意見の送付・問い合わせ

(手続きに関する内容・ご意見の送付先)

国土交通省道路局

企画課道路事業分析評価室 課長補佐 木村 康博

電話 03-5253-8593(内線37682)

FAX 03-5253-1618

(個別事業に関する内容)

国土交通省道路局

国道・防災課 企画専門官 信太 啓貴

電話 03-5253-8492(内線37832)

FAX 03-5253-1620

(別紙)

(新規事業採択時評価)

【道路・街路事業】

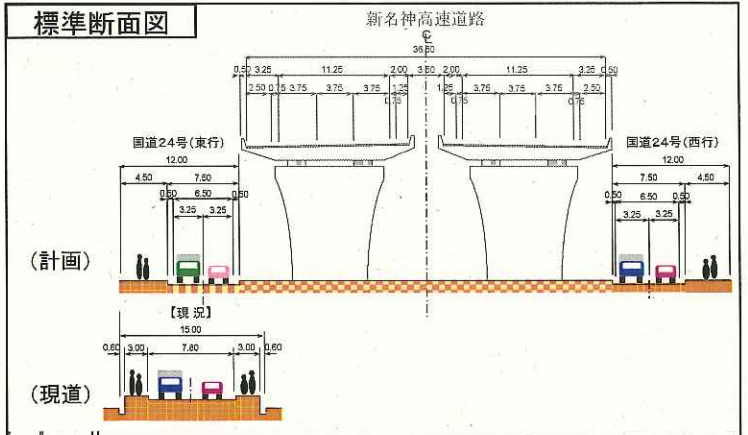
事業名	備考
一般国道24号 ^{てらだ} 寺田拡幅	

一般国道24号 寺田拡幅

事業区間：京都府城陽市寺田～城陽市富野

延長：2.1 km

事業費：約140億円



凡 例	
—	供用中
- - -	事業中
////	該当箇所
●	主要渋滞箇所



▲国道24号
【大群交差点付近の状況】

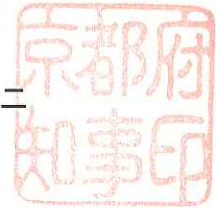


▲国道24号
【消防本部前交差点付近の状況】

5 道 計 第 9 6 号
平成25年4月17日

国土交通省道路局長 様

京都府知事 山田 啓二



道路事業の新規事業採択時評価に係る意見照会について（回答）

平成25年4月16日付け国道分評第6号で、意見照会の件について、別添のとおり回答します。

(別添)

意見

一般国道24号寺田拡幅事業は、平成35年度に開通予定の新名神高速道路大津・城陽間と一体的に整備する必要があり、完成すれば南部地域のまちづくりや交通円滑化に寄与するなど京都府南部の発展には不可欠なものであります。

つきましては、一般国道24号寺田拡幅を平成25年度の新規事業として予算化し、早期の事業完成をお願いいたします。

国道分評第6号
平成25年4月16日

奈良県知事 殿

国土交通省道路局長



道路事業の新規事業採択時評価に係る意見照会について

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、直轄事業の新規事業採択時評価については、国土交通省所管公共事業の新規事業採択時評価実施要領において、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、直轄事業負担金の負担者である都道府県・政令市等に意見を聴いた上で、学識経験者等の第三者から構成される委員会等の意見を聴くこととしております。

このため、別紙に掲げる事業を予算化することについて、平成25年4月18日(木)までに、貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

※ご意見の送付・問い合わせ

(手続きに関する内容・ご意見の送付先)

国土交通省道路局

企画課道路事業分析評価室 課長補佐 木村 康博

電話 03-5253-8593(内線37682)

FAX 03-5253-1618

(個別事業に関する内容)

国土交通省道路局

国道・防災課 企画専門官 信太 啓貴

電話 03-5253-8492(内線37832)

FAX 03-5253-1620

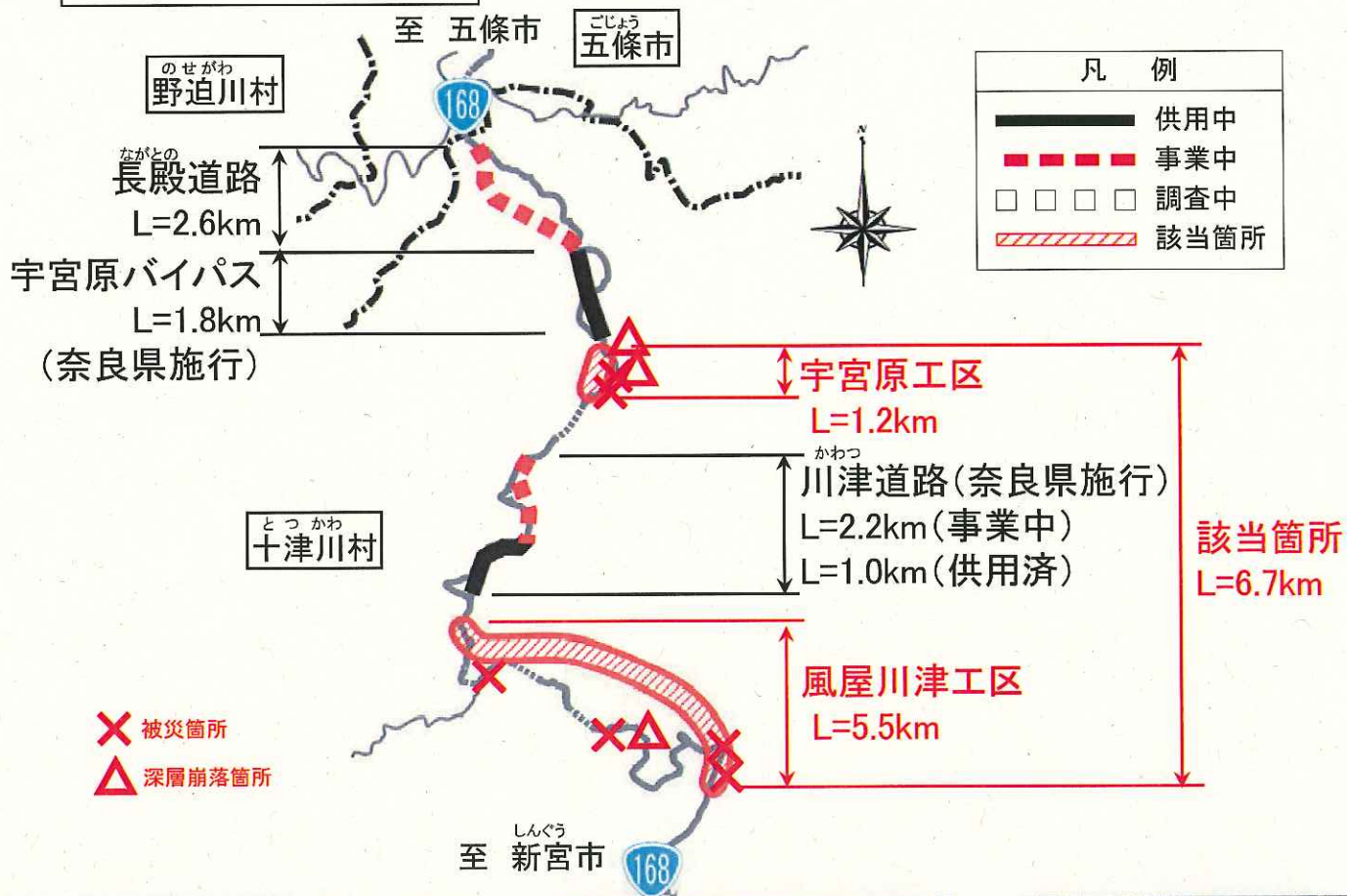
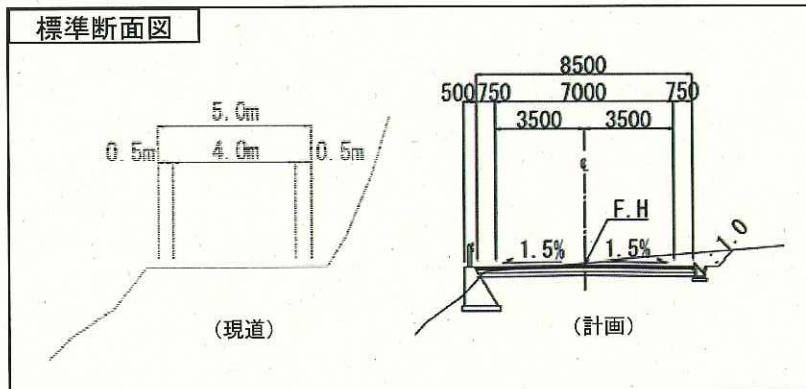
(新規事業採択時評価)

【道路・街路事業】

事業名	備考
一般国道168号 <small>ごじょうしんぐう</small> 五條新宮道路 <small>かぜやかかわつ うぐわら</small> (風屋川津・宇宮原工区)	

一般国道168号五條新宮道路(風屋川津・宇宮原工区)

事業区間 : 奈良県吉野郡十津川村大字野尻～大字宇宮原
 延長 : 6.7km
 事業費 : 約240億円




▲国道168号(宇宮原工区)



▲国道168号(風屋川津工区)





道 建 第 2 0 号
平成 2 5 年 4 月 1 8 日

国土交通省道路局長 殿

奈良県知事 荒 井 正 吾



道路事業の新規事業採択時評価に係る意見照会について（回答）

平成 2 5 年 4 月 1 6 日付け国道分評第 6 号で照会のありました標記の件について別紙のとおり意見を提出します。

国土交通省道路局長 殿

平成25年4月16日付け国道分評第6号で照会のありました道路事業の新規採択時評価に係る意見照会について、以下のとおり回答致します。

一般国道168号「五條新宮道路」は、奈良県南部地域にとって産業や観光の振興を担う主要な幹線道路であり、生活や救急医療を支える「命の道」です。

このようなことから、一昨年9月の紀伊半島大水害からの迅速な復旧・復興に取り組んでいる本県にとって、「風屋川津・宇宮原工区」が新規事業評価の対象路線になったことは、誠に喜ばしく、感謝申し上げます。

本県としては、今回評価いただく箇所が、早期整備に向けて速やかに新規事業採択されることを強く望んでいるところであり、照会のあった予算化について、是非とも実現していただくよう、お願い申し上げます。

平成25年4月18日

奈良県知事

荒井正吾